

サルコペニアに注意が必要な 糖尿病薬について



高齢の糖尿病患者さんでは、以下の糖尿病薬を使う際にサルコペニアの発現や増悪に注意が必要だといわれています。(※)

①GLP-1 受容体作動薬：リラグルチド、エキセナチド、リキシセナチド、デュラグルチド 等

インスリンの分泌を促して血糖値を下げる注射薬です。食欲を低下させる作用があり、嘔気を催したり体重が減ることがあります。

②SGLT2阻害薬：イプラグリフロジン、カナグリフロジン、エンパグリフロジン 等

尿中への糖の排泄量を増やすことで血糖値を下げる飲み薬です。体内での代謝(糖新生)が亢進して、体脂肪だけでなく筋肉の量も減少することがあります。(※※)



血糖値をコントロールするために重要なお薬ですが、食事が十分摂れない場合や、体重の低下が続く場合には主治医に相談しましょう。